学校番号	３０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	NEXT 数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	CONNECT 数学Ⅱ＋B＋C〔数列、統計的推測、ベクトル〕（数研出版） CONNECT 数学Ⅲ＋C〔複素数平面、式と曲線〕（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習→授業→復習のサイクルの中で，内容についてただ覚えるのでなく，なぜそうなるのかを自ら考えていく過程を大切にしてください。課題を解決する方法を，学んだ知識や経験を基に自ら作り出してください。それが見つからない場合は周りの人と協働で考えることも有効です。
復習の家庭学習として問題集を活用します。まずは、解答を見ないで自分で考えてみてください。そして解答を参照し，そこでもただ解法を覚えるのでなく，なぜそうするのかを考えてみてください。それで初めて数学的に問題を解決する力がつきます。
また，デジタル教材の中には関数ツール・図形ツール・統計ツールなど、紙面だけではわかりにくい部分のサポートが多数含まれています。スタディサプリでも動画コンテンツが多数存在しています。ぜひ自学自習の際に活用してください。
問題集用のノートを用意し，答えだけでなく，途中の式，説明など結論に至る過程を書くようにしてください。それにより，数学的思考力および表現力が身につきます。なお，家庭学習の課題は定期的に提出を求めます。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
a：知識及び技能
平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
b：思考力、判断力、表現力等
図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
c：学びに向かう力、人間性等
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的･発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔･明瞭･的確に表現する力を身に付けている。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期						
2学期	C 3章 複素数平面	1　複素数平面 2　複素数の極形式 3　ド･モアブルの定理 4　複素数と図形	a:・複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解している。 ・ド・モアブルの定理について理解している。 b:・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 c:・事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ･問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善しようとしたりしている。	小テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 定期考査	振り返りｼｰﾄ 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

2学期	C4章 式と曲線	1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線と離心率 2節 媒介変数表示と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータの利用	a:・放物線，楕円，双曲線が2次式で表されること及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。 b:・放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 c:・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	小テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
3学期	数C 演習	問題演習	a:・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 b:・数学を活用して事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力を身に付けている。 ・事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 c:・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	小テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 定期考査	振り返りシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度